

夜景サミット 2018in マレーシア報告書（概要）

長崎市議会議員 毎 熊 政 直

1 訪問の目的

平成21年以降、夜景観光活性化に尽力する行政、民間企業が一堂に会する場として夜景サミットが開催され、長崎市は、平成24年10月の夜景サミットにおいて、香港、モナコとともに「世界新三大夜景都市」に認定された。また、平成27年10月には札幌市、神戸市とともに「日本新三大夜景都市」に選定されている。

そこで、日本の夜景の素晴らしさ、美しさを伝えることはもちろん、多くの外国の皆様に向けた観光コンテンツとして認知を図るべく、これまで多くの反響を呼んだ香港（2013年）、台湾（2014年）、ベトナム（2016年）、タイ（2017年）に引き続き、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローの主催による「夜景サミット2018inマレーシア」が開催されることから、長崎市においても「長崎夜景」の魅力、美しさなどをPRすべく、行政とともに市議会からも夜景サミットに参加することとした。

また、マレーシアの概況や日本企業の進出動向などについての調査を行うため、「JETRO（日本貿易振興機構）クアラルンプール事務所」を訪問することとした。

2 訪問期間 平成30年7月24日（火） ～ 7月28日（土）（5日間）

3 訪問都市 マレーシア・クアラルンプール市

4 日程

月日	時間	発・着	行程
7/24 (火)	14:30	議会事務局 発	
	17:00	福岡市内 着	ホテルへ
7/25 (水)	8:00	福岡空港 着	
	10:00 (日本時刻)	福岡空港 発	シンガポール航空655便
	15:25 (以降現地時刻)	シンガポール チャンギ空港 着	トランジット (空港経由のみ)
	16:45	シンガポール チャンギ空港 発	シンガポール航空116便
	17:45	クアラルンプール 国際空港 着	入国手続き後、貸切バスで夜景視察会場へ
	19:30~ 22:30	ホテル 着	クアラルンプール夜景視察 (KLタワー、KLCCパーク)
7/26 (木)	9:00~ 12:00		市内視察 (王宮、国立モスク、国家記念碑等)
	15:00~ 16:30		夜景サミット in マレーシア (本編・商談)
	18:30~ 20:00		夜景サミット懇親会
7/27 (金)	10:00~ 11:00		JETRO (日本貿易振興機構) クアラルンプール事務所訪問
	12:00	クアラルンプール 国際空港 着	
	14:30	クアラルンプール 国際空港 発	シルクエアー327便
	15:30	シンガポール チャンギ空港 着	入国手続き後、貸切バスで市内視察会場へ
	16:30~ 22:00		シンガポール視察 (マーライオン公園、マリーナ・ベイ・サンズ、スペクトラ、ガーデンラプソディ)
	23:00	シンガポール チャンギ空港 着	
7/28 (土)	1:20	シンガポール チャンギ空港 発	出国手続き、シンガポール航空648便
	8:35 (以降日本時刻)	福岡空港 着	
	9:30	福岡空港 発	
	12:00	議会事務局 着	

5 調査概要

7月25日（水）

（1）クアラルンプール市内夜景視察

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催による夜景サミットオリエンテーション終了後、クアラルンプール市内のライトアップ施設の現地視察を行った。

■ KLタワー

1996年に完成した、クアラルンプール市の中心部、海拔94メートルのブキッナナスの丘に位置する観光タワーであり、高さは421メートルある。

■ KLCCパーク

KLCCとは、「Kuala Lumpur city centre」の頭文字を取ったもので、市内中心部に位置するペトロナス・ツイン・タワーの足元に広がる公園。周辺には駅や地域冷房センター、水族館等の施設が立ち並ぶ。



夜景サミットオリエンテーション



KLタワー



KLCCパーク

7月26日（木）

（1）クアラルンプール市内視察

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催によるクアラルンプール市内施設の現地視察を行った。

■ 王宮（イスタナネガラ）

2011年に完成した王宮であり、マレーシア国王の公邸。日々王室行事や授与式、晩餐会などが開催されている。



■ 国家記念碑

1949年から12年続いたマレーシア独立戦争に命を捧げた兵士を顕彰する、高さ15メートルの7人の兵士のブロンズ像。噴水に囲まれた造りになっており、夜間にはライトアップされる。



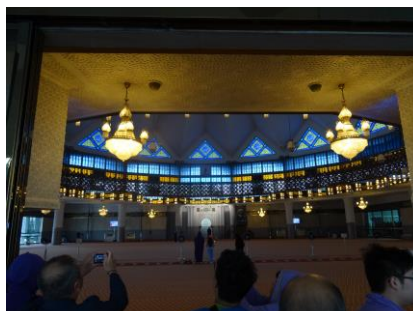
■ 国立モスク

1957年8月31日のマレーシア独立後、独立の象徴として国立モスクの建設が計画され、1965年に国立モスクが建設された。シンボルは73メートルの塔（ミナレット）。

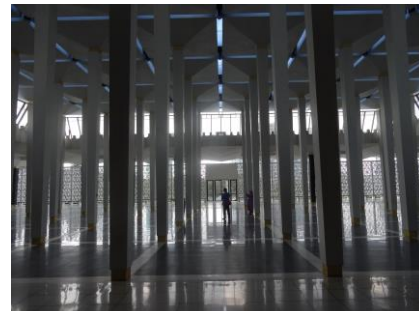
メインドームは18点の星型に造られており、マレーシア13の州、イスラムの5つの柱が表されている。モスクには肌を露出した格好で入ることが禁じられている。また、靴は入口で脱ぐ必要がある。



モスク外観とシンボルトワー



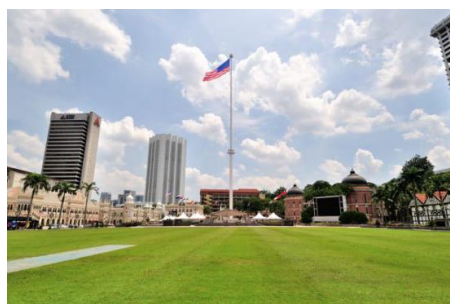
メインドーム



石造りのフロア

■ ムルデカ・スクエア

ムルデカ・スクエアは、マレーシアのクアラルンプール中心部に位置する広場。1957年8月31日にマレーシアがイギリス統治からの独立を宣言した場所であり、ポールにはマレーシアの国旗がはためいている。マレーシアの独立記念日ほか、数々の国家イベントに利用されている。



(2) 夜景サミット2018inマレーシア

ア 目的

- ① 日本における夜景の観光価値の情報発信と共有
- ② 日本の行政・民間団体の担当者と、マレーシアのアウトバウンド観光のキーマン、FITキーマン、旅行商品造成担当者等の関係各位との交流
- ③ 日本向け夜景観光商品の開発と実現

イ 主催

一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー

ウ 参加者

(日本国内参加者)

長崎市(加藤副市長、議員団)、足利市、札幌市、藤沢市、品川区、勝山市、夜景観光・イルミネーション施設、照明メーカー等の民間事業者

(マレーシア国内参加者)

訪日観光旅行エージェントの担当者、政府観光関係者、マスコミ関係者等

エ 会場

マンダリンオリエンタル クアラルンプール

〈夜景サミット第一部 開会式・夜景観光情報説明会〉 15:00-16:35

- ① 夜景観光コンベンション・ビューロー代表理事 丸々もとお氏より開会挨拶



- ② マレーシア政府観光局シニアディレクターDatuk Musa Yusoff氏より挨拶



③ 長崎市加藤副市長挨拶



④ 日本国内プレゼンターと来賓紹介



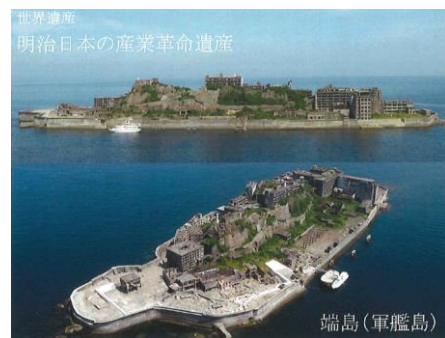
⑤ 日本の夜景紹介&事例発表

訪日観光旅行エージェンツの担当者、マレーシア政府観光関係者、マスコミ関係者等に対し、日本の行政・民間事業者より、夜景やイルミネーションについてプレゼンテーションが行われた。

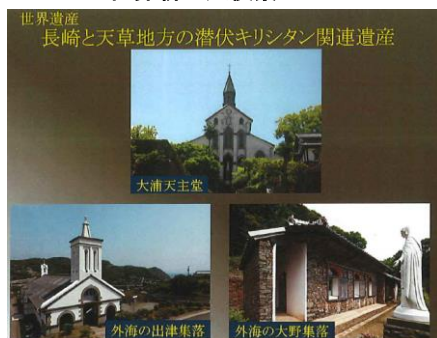
【長崎県長崎市】



世界新三大夜景



端島(軍艦島)



潜伏キリシタン関連遺産



長崎の「食」の魅力

【栃木県足利市】



あしががフラワーパーク



藤の花

【北海道札幌市】



藻岩山からの夜景



さっぽろテレビ塔

【神奈川県藤沢市】



江ノ島シーキャンドル



江ノ電

【東京都品川区】



大井競馬場イルミネーション



大井競馬場外観

【福井県勝山市】



スキージャム勝山LEDエリア



スキージャム勝山ジオ・イルミネーション

⑥ 日本夜景応援大使任命式・メディア撮影



〈夜景サミット第二部 商談会〉 16:45-18:15
現地エージェントと日本参加者による商談会



〈夜景サミット第三部 懇親会〉 18:30-20:00
日本参加者とマスコミ・メディアとの意見交換会



(1) JETRO（日本貿易振興機構）クアラルンプール事務所視察

JETROクアラルンプール事務所を訪問し、マレーシアの概況及びマレーシア経済概況、日系企業の進出動向等について、担当者から説明を受けた。

JETROは、中堅・中小企業等の海外展開支援をはじめ、日系企業の活動に寄与する調査・分析を日本企業に広く提供している。海外54か国に74事務所を持ち、マレーシアではクアラルンプールに事務所を置いている。

主な事業内容として、アドバイザー等による相談対応や、中小企業海外展開現地支援プラットフォームの整備・構築、日系企業向けセミナー及びメールマガジンの配信等を展開している。

【マレーシアの一般情報】

マレーシアは、東南アジア諸国連合（ASEAN）の主要国の一つである。国土面積は約33万平方キロメートルで、日本の国土面積と比較すると0.87倍の大きさである。

国土の6割を熱帯雨林が占め、国全体の人口密度は平均で1平方キロあたり89人と日本の約4分の1にとどまる。

総人口は3,000万人超で、首都クアラルンプールを中心に三大民族（マレー人、華人、インド人）など様々な民族が居住しているのが特徴であり、国内では様々な言語が話されている。

また、宗教については、マレー人はイスラム教、華人は仏教またはキリスト教、インド人は主にヒンドゥー教を信仰している。この他にもシーク教や儒教・道教を信仰する者もあり、言語だけでなく多様な宗教も混在している。

【マレーシアの経済概況】

2017年のマレーシア経済は、実質GDP成長率が5.9%と前年の4.2%から大幅に加速した。堅調な民間消費に加え、民間投資が成長を押し上げた。2018年のGDP成長予測は政府予測値で5.0～5.5%としている。

貿易収支は20年連続の黒字を達成したほか、世界需要の回復および資源価格の上昇に伴い、輸出入ともに増加している。

他方、対内直接投資は前年比30.5%減と鈍化した。投資額上位の香港、シンガポールからの直接投資が前年比減となった。日本からの直接投資は増加したが、製造業の投資認可額は2年連続で減少した。

在マレーシア日系企業の経営上の課題である労務問題は、雇用者負担増となる制度の導入が相次ぎ、引き続き懸念事項となっている。

【日系企業の進出動向】

JETRO（日本貿易振興機構）によると、2017年12月時点で、マレーシアに進出する日系企業は約1,400社にのぼる。進出する日系企業のうち最多が製造業。

1989年から2003年までの間は製造業の進出数がほぼ毎年100社を超えていたが、現在は年間30社前後と落ち着いており、サービス業の企業進出が目立ち始めている。

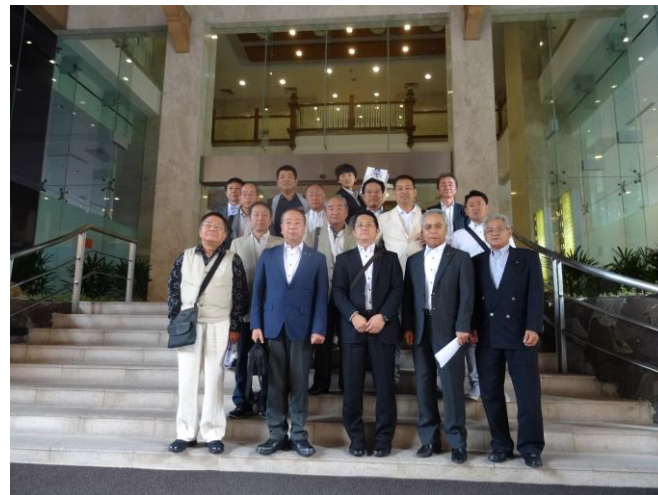
JETROでは毎年、「アジア・オセアニア進出日系企業実態調査（以下、調査）」

を実施している。2017年度の調査ではアジア・オセアニアの20か国、地域を対象に行われ、マレーシアでは、227社から回答を得たとのこと。

在マレーシア日系企業のうち73.8%が同年度の営業利益見込を「黒字」と回答しており、ASEANの中ではフィリピンの79.5%に次いで高い数値であり、調査対象の20か国、地域中でも韓国、台湾、フィリピン、オーストラリアに次いで、5番目に高い水準となっている。

また、今後1～2年で事業を「拡大する」と答えた企業は51.3%に上り、それぞれ前年度調査から11.0ポイント、7.2ポイントと大幅に増加している。

他方、マレーシアにおける経営上の問題点として、「品質管理の難しさ」、「従業員の賃金上昇」、「調達コストの上昇」等が上位を占めている。それぞれの割合は前年度調査と比較しても上昇しており、品質管理、労務と調達コストの上昇に対する懸念が増している。コスト上昇の対策として、企業は経費節減や原料調達先及び調達内容の見直しを実施している。



(2) シンガポール市内視察

日本へ帰国する際、クアラルンプール国際空港からチャンギ空港を経由しなければならない。チャンギ空港へ移動後、福岡空港行の航空機が出発するまでの時間を利用し、シンガポール共和国の市内視察や夜景視察を行った。

■ マーライオン公園

シンガポール川河口の公園。海に突き出た突端には、高さ8メートルのマーライオン像がある。マーライオは上半身がライオンで下半身が魚の白い像。夜はライトアップされ、ロマンチックな雰囲気が漂う。

■ マリーナ・ベイ・サンズ

ラスベガスのカジノ運営会社ラスベガス・サンズによって2010年に開業された総合ホテルリゾート。2,560室に及ぶ3棟のホテル、カジノ、コンベンションセンター、美術館、劇場、ショッピングセンターを包括する一大リゾートとなっている。

■ スペクトラ

マリーナ・ベイ・サンズのプロムナードで、約15分間にわたってレーザー光線、サーチライト、LED、ビデオプロジェクターなどを駆使して展開する光と水と音楽のショー。

■ ガーデンラプソディ

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのスーパーツリー・グローブで行われる約15分間のショー。壮大な音楽に合わせて巨大なスーパーツリーが点滅し、幻想的な世界が繰り広げられる。



マーライオン公園



マリーナ・ベイ・サンズとマーライオン



スペクトラ



ガーデンラプソディ